

歓迎の言葉

春のおとづれを感じられる暖かな季節となりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在学生を代表いたしましたして、心からお祝いを申し上げます。

きっと皆さまの中では今、これから始まる学校生活への期待と不安が駆け巡っている事と思います。今日から始まる学校生活は、今までとは違ったまったく新しい日々になる事と思います。そんな中で、もし分からないう事や、困った事がありましたら、先生方や事務局の方々、そして、二年生に相談してみてください。きっと皆さまの事を、さまざまな面からサポートして下さり、またそれだけでなく、皆様の中にある不安や疑問も取り除いて下さることでしょう。ここまで支えて下さったご両親への感謝の気持ちを忘れずに、そんな素晴らしい人々の支えを受けながら、この豊富なキャンパス中で、安心してのびのびとした短大生活が送れる事と思います。

また、楽しい学生生活を送るために本学ではたくさんの方々の行事を企画しています。スポーツ大会や、学校祭である山緑祭では、学校中で力と合わせることにより、学年やクラスを超えた絆が深まっています。それに、中国やアメリカなどで行われる海外語学研修は、異文化に直接触れることのできる絶好の機会となり、これらの自分に新たな目標を見つけられる事でしょう。

私は保育学科に在籍している身ではありますが、幼稚園、保育園、施設と充実した実習を経験してきました。当大学の先生方はもちろん、各施設の先生方からも温かなご指導をいただき、多少ではあるとは思いますがこの一年での成長と自分でも感じる事が出来ました。夏休みにはコミュニケーション学科の方とご一緒に、任意で参加できますホームヘルパーの資格取得にも励み、充実した一年を送る事が出来ました。きっと、新入生の皆様にも、そんな自分の成長と実感できる充実した二年間を過ごしてもらえるのではないかと思います。

話は変わりますが、先日のお東北地方太平洋沖地震では、ここにご臨席賜りました皆様の記憶にもまだ新しいと思います。ご臨席の皆様の中にも、ご家族やご友人が被災された方々もいらっしゃるかと思います。この度の地震により、被災され、多くの尊い命が失われた事に謹んでご冥福をお祈り申し上げます。被災された皆様にお見舞い申し上げます。この度の地震では、命の尊さを尚のこと強く理解するきっかけになったのではないかと思います。また、さまざまな困難を乗り越え、こうして出会えた事にはとても大きな意味がある事でしょう。私たちの人生は長く、この山村学園という舞台での出会いは、その中のほんの一ページにしか過ぎないのかもしれませんが、それでも、こうして新たな出会いを実現できた事と、友人や家族と笑顔でいられるということにも感謝しながら、これからの大学生活を楽しんでいってほしいと思います。また、これから始まる生活の中でたくさんの方の事を吸収し、自分のものにしてください。そうすれば、自分の夢へと確実に一歩を踏み出す事ができ、また、新たな自分を見つけることができるかもしれません。

最後になりましたが、これから始まる二年間という短い学生生活が、皆様にとって実りのある素晴らしい時間になる事を願っています。在校生を代表いたしましたして、歓迎の言葉とさせていただきます。

平成二十三年度 四月一日

在校生代表